# 小さな箱庭　組立説明書

たけのこあら　／　ひなたの庭・月の夜・はつゆき

## 1　印刷と下準備

作品の型紙２枚をA4縦・片面・実際のサイズ（100%）で印刷します。
180〜220 g/㎡のマット厚紙はプリンターが対応する厚さを選んでください。
両方の50 mm目盛りを定規で測り、インクが乾いてから作業します。

## 2　切る線と折る線

赤い実線は外周と切り込みです。中央額の足元には縦の切り込みが２本あります。
床の中央にある赤い横線だけをカッターで開きます。幅16.8 mmの差し込み口です。
青の破線は印刷面を内側にする谷折り、紫の一点鎖線は印刷面を外側にする山折り。
切る前に定規と先の丸いヘラで折り筋を軽く付けます。刃物は大人がマット上で扱います。

## 3　背景を立て、前縁を床の裏へ折る

１枚目の外周を切り、背景と床の境を谷折りで直角にします。
手前の18 mmは山折りで床の裏へ完全に折り返して貼ります。床を水平に置けます。

## 4　左右の角を補強する

三角形の２辺に付いた幅８ mmの白い帯を、印刷面側へ谷折りで90 ° 起こします。
色面を箱庭の内側に向け、直角の頂点を床と背景の境に合わせます。
左は型紙上の横の折線を床に、右は縦の折線を床に置くと左右が対になります。
帯の印字がある面と反対の面に薄く糊を塗り、片方を床に、もう片方を背景に貼ります。

## 5　小物と額を立てる

小物の足は後ろへ90 ° 山折り。作品別の配置図に合わせ、左右の小物から貼ります。
中央額は両脇の足だけを後ろへ90 ° 山折りし、中央の幅16 mmの舌を下へ差します。
床の裏から舌を青い線で前へ折って貼り、左右の足も床に貼ります。
乾くまで直角を支えます。細い紙片や糊は乳幼児の手の届かない場所で扱ってください。

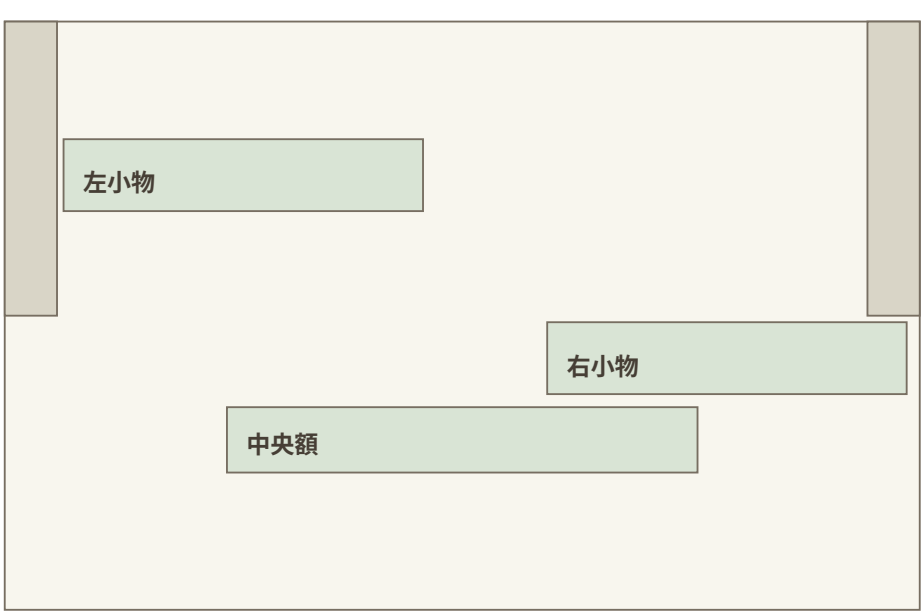
完成想定　幅140 × 奥行90 × 高さ100 mm　｜　紙の実印刷・物理組立は未検証

# ひなたの庭

組立完成図と床の配置　／　寸法の単位は mm




## 床を真上から見た配置




左奥を起点に、各部品の折線の左端を次の位置に合わせます。

左小物（右へ9、手前へ29）　右小物（83、57）　中央額（34、69）

緑は糊しろの範囲。各折線は背景と平行に置き、絵を手前に向けます。

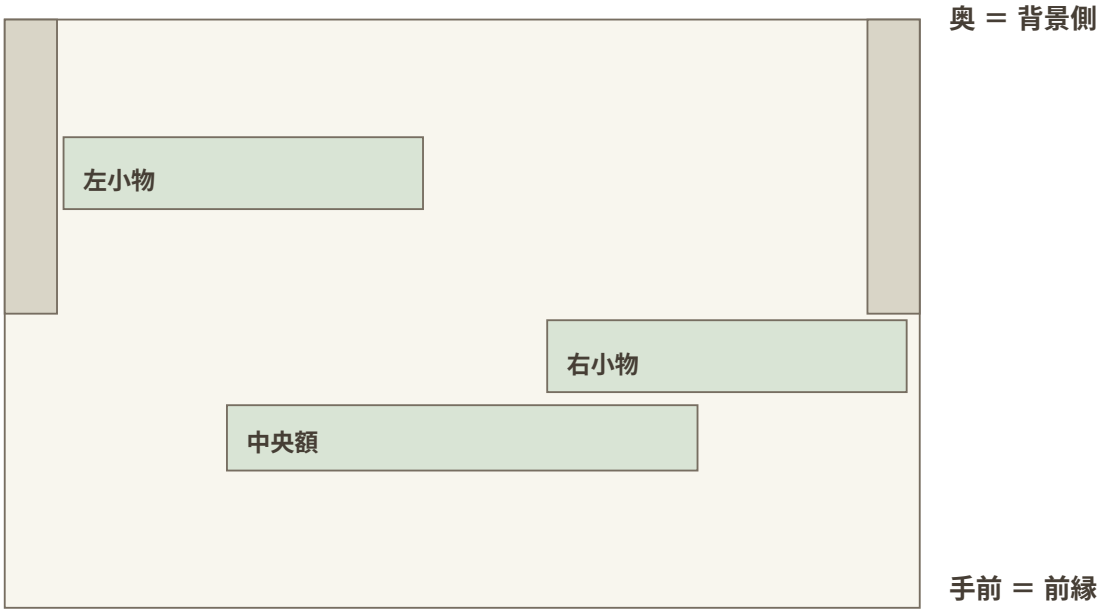
左右の灰色は補強の床側の帯。額の中央の舌だけ床の裏に貼ります。

# 月の夜

組立完成図と床の配置　／　寸法の単位は mm




## 床を真上から見た配置




左奥を起点に、各部品の折線の左端を次の位置に合わせます。

左小物（右へ9、手前へ29）　右小物（83、57）　中央額（34、69）

緑は糊しろの範囲。各折線は背景と平行に置き、絵を手前に向けます。

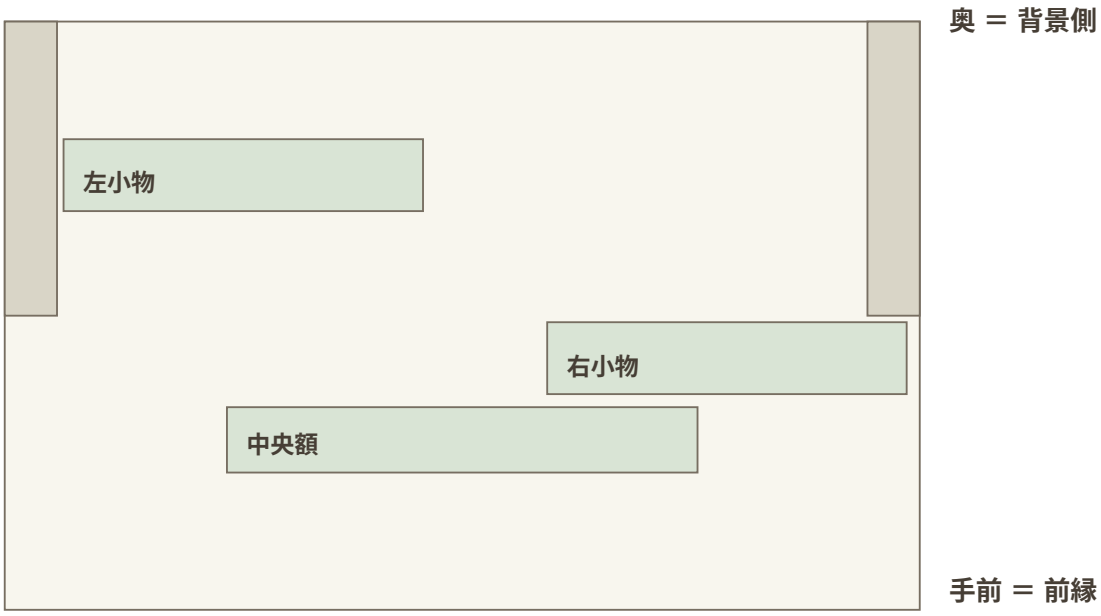
左右の灰色は補強の床側の帯。額の中央の舌だけ床の裏に貼ります。

# はつゆき

組立完成図と床の配置　／　寸法の単位は mm




## 床を真上から見た配置




左奥を起点に、各部品の折線の左端を次の位置に合わせます。

左小物（右へ9、手前へ29）　右小物（83、57）　中央額（34、69）

緑は糊しろの範囲。各折線は背景と平行に置き、絵を手前に向けます。

左右の灰色は補強の床側の帯。額の中央の舌だけ床の裏に貼ります。